

日本周産期・新生児医学会 第38回周産期学シンポジウム演題募集要項

テーマ：母児の予後改善を目指した合併症妊娠の管理

会 長：村越 毅 会長（聖隷浜松病院 産婦人科部長）

会 期：2020（平成32）年1月31日（金），2月1日（土）

会 場：アクトシティ浜松

演題募集

今回、周産期学シンポジウム運営委員会では、母児の予後の改善に繋がる母体合併症の管理に注目しました。近年の晩婚化や各種疾患の管理向上によって、基礎疾患をもちながら妊娠する女性が増加しています。さらに胎児への薬剤曝露の影響に関する情報が蓄積され、妊婦に投与される薬剤も変化しており、合併症妊娠の管理が変わりつつあります。合併症には内科疾患、婦人科疾患はもとより、悪性腫瘍あるいは悪性腫瘍治療後、脳血管障害、精神疾患、整形外科疾患や腹部手術後など様々な疾患が含まれます。合併症妊娠の管理には以前より、妊娠が合併症に与える影響および合併症が妊娠に与える影響をともに考慮することが要点とされています。合併症への影響には母体の将来が、妊娠への影響には胎児の将来が含まれており、換言すれば「合併症による母児の将来への影響を考慮した管理が必要」とも考えられます。一方、脳血管障害や悪性腫瘍に対しては、母体治療のために妊娠中に手術を行ったり、早期娩出を図ったり、さらには抗がん化学療法を行うなど、母体・胎児の将来にとっては、利害が一致しない管理を行うこともあります。また精神疾患では、医療によるケアのみならず、行政からのサポートなど、多職種の協働が必要となります。このように合併症妊娠の管理には、産科・小児科はもちろんのこと、他領域の医療から行政に至るまでの連携が不可欠であり、幅広い視点から母児の予後を見据えた取り組みが必要です。

そこで、第38回周産期学シンポジウムでは「母児の予後改善を目指した合併症妊娠の管理」として、予後改善を目指した母体管理、胎児管理、娩出方法・時期の決定、新生児管理、産後のケア・サポートに関連した演題を広く募集します。なお、妊娠高血圧症候群や前置胎盤といった妊娠合併症は今回のテーマからは範囲外とします。発表の約1年半前から応募を受け付け、運営委員とともに研究内容を吟味し、発展させる本シンポジウムの特性上、発展性のある意欲的な研究課題の応募を希望します。また基礎研究の演題も受け付けますが、臨床応用への道筋が明確である研究を望みます。

キーワード

循環器疾患、呼吸器疾患、内分泌・糖代謝疾患、消化器疾患、腎疾患、血液疾患、膠原病・膠原病類縁疾患、神経疾患、子宮頸癌・頸部異形成、子宮体癌、卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮腺筋症、円錐切除術後、子宮頸部広汎摘出術後、筋腫核出術後、腺筋症摘出術後、帝王切開、無痛分娩、人工早産、流死産、習慣流産、不育症、抗リン脂質抗体症候群、各種固形癌、白血病、悪性リンパ腫、悪性腫瘍治療後、脳動脈瘤・脳動静脈奇形・もやもや病などの脳血管障害、うつ病・双極性障害・統合失調症などの精神疾患、整形外科疾患、骨系統疾患、成人先天性心疾患、腹部手術後、薬物治療、抗悪性腫瘍薬、早産・低出生体重児、カウンセリング、メンタルケア、フォローアップ、チーム医療、多職種連携

応募要項

1. **応募書類**：「応募用紙」「抄録用紙」「発表者の利益相反自己申告書*」の3点です。下記URLよりデータをダウンロードしてください。

- 1) 応募用紙：http://www.jspnm.com/syukai/doc/oubo_38.xlsx
- 2) 抄録用紙：http://www.jspnm.com/syukai/doc/syoroku_38.docx
- 3) 発表者の利益相反自己申告書：http://www.jspnm.com/syukai/doc/rieki_37.docx

*発表者の利益相反自己申告書は、2018年5月1日より様式2-1 (以下のURL) に変更となります。

https://www.jspnm.com/aboutgakkai/pdf/rsjl_2A.pdf

*利益相反指針及び指針細則は以下のURLを参照ください。

<https://www.jspnm.com/aboutgakkai/pdf/rss171218.pdf>

2. **応募演題の注意点**

- 1) 同一施設からの応募数に制限はありませんが、同一応募者は複数の演題を応募できません。
- 2) 応募者は原則として会員かつ単名に限ります。なお、共同研究者等の名前を示す場合は、演題発表の際に謝辞等として示してください。
- 3) 前向き・後ろ向き研究に関わらず、応募には倫理委員会・Institutional Review Board等への申請が済んでいることが必要で、最終選考（2019年6月予定）までに承認が必要です。

3. **応募方法**：「応募用紙」「抄録用紙」「発表者の利益相反自己申告書」を、E-mail の添付文書として学会事務局宛、件名は「第38 回周産期学シンポジウム応募演題」として送信ください。

4. **応募用紙**

- 1) **【「応募用紙.xlsx」への入力に関する注意】**に沿って作成ください。
- 2) 応募用紙のファイル名は「発表者名-応募用紙.xlsx」としてください。

5. **抄録本文**

- 1) 抄録本文は、目的～考察：1,600字以内＋今後の研究計画（シンポジウムでの発表までに実現可能な内容）：200字以内（文字数厳守）、図表不可とし、MS Word形式で保存してください。
- 2) 文字数のカウントは、見出しを含めた本文をMS Word「文字カウント」（校閲タブもしくはツールタブにあります）を用いて、「文字数（スペースを含める）」に返された数とします。
- 3) 目的、方法、結果、考察、今後の研究計画の順に記載ください。
- 4) 個人情報や生命倫理等、特に倫理的配慮を必要とする研究である場合は、行った具体的配慮について記載ください。
- 5) 抄録本文のファイル名は「発表者名.docx」としてください。

6. **発表者の利益相反自己申告書**

- 1) **【利益相反に関する自己申告書の提出】**に沿って作成ください。
- 2) 利益相反自己申告書のファイル名は「発表者名-利益相反.docx」としてください。

7. **演題送信先**：info@jspnm.org（日本周産期・新生児医学会事務局）

8. **応募締切**：**2018年10月15日（月）13：00 厳守**

9. **問合せ先**：日本周産期・新生児医学会事務局

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30 メジカルビュー社内

TEL：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104 E-mail：info@jspnm.org

*演題受付後、1週間以内に事務局より「受付メール」をお送りいたします。連絡がない場合は事務局に問合せください。

* 応募演題は周産期学シンポジウム運営委員会による書類選考，一次選考，最終選考を行い，2019年6月までに第38回 周産期学シンポジウム口演演題として決定する予定です。

* 書類選考：演題応募者には，2018年11月14日（水）までに書類選考結果をお知らせいたします。

* 一次選考：書類選考通過者は，2018年12月の一次選考会（東京）に出席いただきます。一次選考会では，スライドを用いたプレゼンテーション（7分間：時間を厳守して下さい）と，運営委員との質疑応答（8分間）を行います。一次選考会終了後，選考結果をお知らせいたします。
応募者が出席できない場合は，演題が不採択となることがあります。

* 最終選考：一次選考通過者は，2019年6月の最終選考会（東京）で一次選考と同様の方法で選考を行います。最終選考会終了後，最終結果をお知らせいたします。

【「応募用紙.xlsx」への入力についての注意】

1. 必要事項はすべて入力ください。
2. 非会員の方は速やかに入会手続きをお願いいたします。学会ホームページより手続きできます。

問合せ先：日本周産期・新生児医学会事務局

<https://www.jspnm.com>

TEL：03-5228-2074 FAX：03-5228-2104 E-mail：info@jspnm.org

【利益相反に関する自己申告書の提出】

日本周産期・新生児医学会が定めた利益相反指針及び指針細則に則り，「発表者の利益相反自己申告書（様式2-1）」の提出が必要となります。

原則として利益相反の有無は演題の採択には影響しません。

演題が採択された場合，利益相反状態の有無にかかわらず，発表演題の最初のページ（スライド）に利益相反状態を明記してください。記載例を以下に示します。

◆利益相反状態にない場合の記載例

筆答演者氏名：○○○○

研究責任者：○○○○

所 属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して，開示すべき利益相反状態はありません。

◆利益相反状態にある場合の記載例

筆答演者氏名：○○○○

研究責任者：○○○○

所 属：△△△△産婦人科

私の今回の演題に関連して，開示すべき利益相反状態は以下のとおりです。

・報酬額/ ○○製薬株式会社

・講演料/ □□製薬株式会社

・原稿料/ ◇◇製薬株式会社

・研究費・助成金（寄付講座所属）/ 株式会社××

2018年3月

日本周産期・新生児医学会
周産期学シンポジウム運営委員会